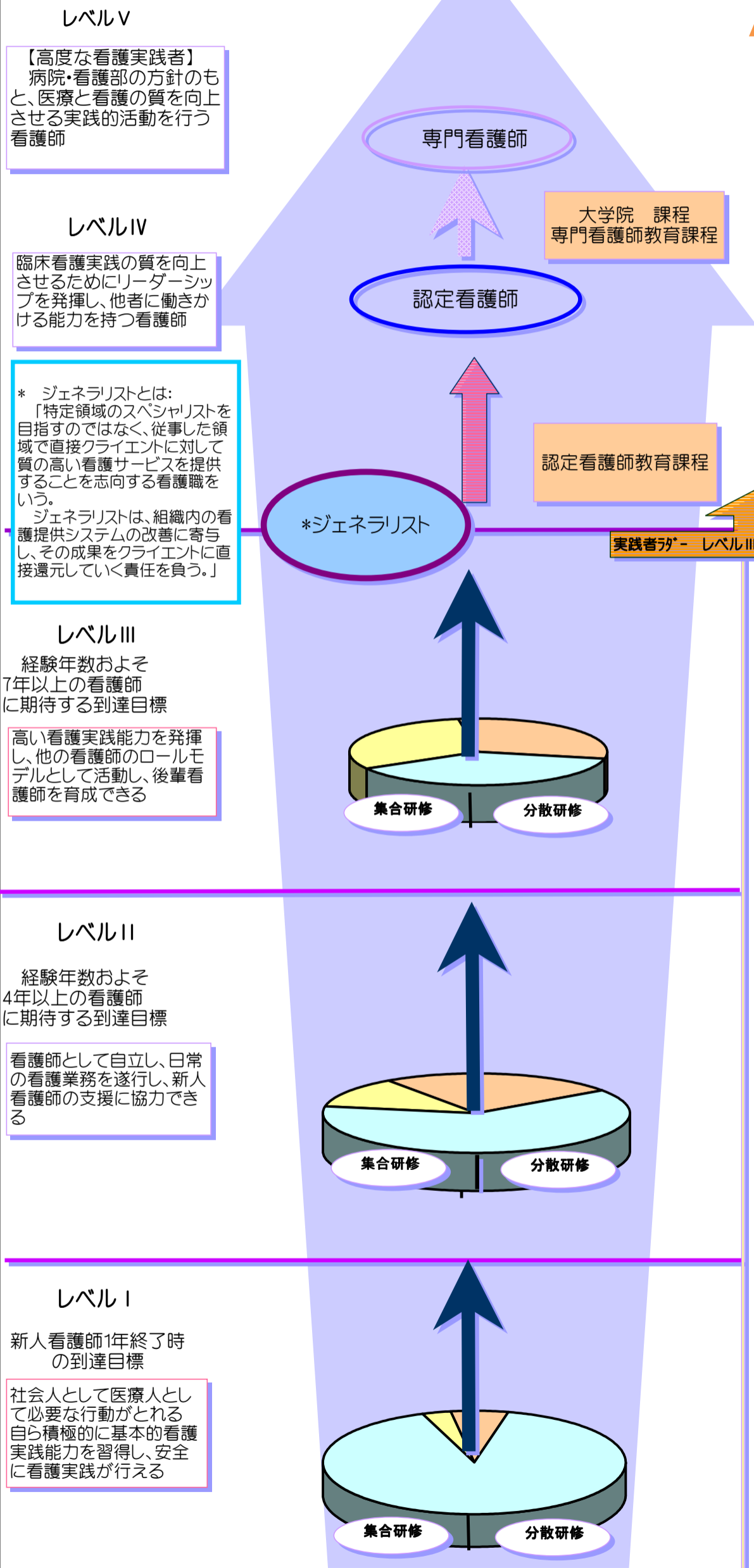


自己実現

看護実践者ラダー

看護管理者ラダー

* 赤十字施設の看護管理実践能力向上のためのキャリア開発ラダー



レベルV
【高度な看護実践者】
病院・看護部の方針のもと、医療と看護の質を向上させる実践的活動を行う看護師

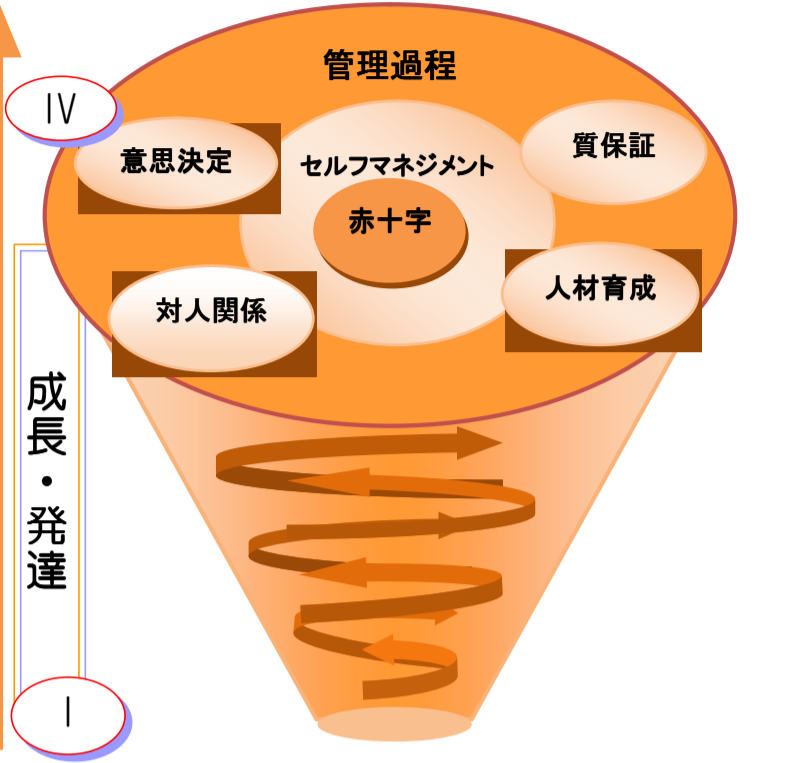
レベルIV
臨床看護実践の質を向上させるためにリーダーシップを発揮し、他者に働きかける能力を持つ看護師

* ジェネラリストとは：
「特定領域のスペシャリストを目指すのではなく、従事した領域で直接クライアントに対して質の高い看護サービスを提供することを志向する看護職をいう。
ジェネラリストは、組織内の看護提供システムの改善に寄与し、その成果をクライアントに直接還元していく責任を負う。」

レベルIII
経験年数およそ7年以上の看護師に期待する到達目標
高い看護実践能力を発揮し、他の看護師のロールモデルとして活動し、後輩看護師を育成できる

レベルII
経験年数およそ4年以上の看護師に期待する到達目標
看護師として自立し、日常の看護業務を遂行し、新人看護師の支援に協力できる

レベルI
新人看護師1年終了時の到達目標
社会人として医療人として必要な行動がとれる自ら積極的に基本的看護実践能力を習得し、安全に看護実践が行える



対象・活動領域の広がり

看護管理実践能力とは：
組織理念・目標達成に向けて看護管理を展開できる能力
赤十字の看護管理者は、人道を基本とした赤十字の7原則に基づき、地域・社会が求めるヘルスケアサービスを提供できるよう先見性・創造性をもって変化に対応し、赤十字事業の推進者として社会に貢献できる人材である。また、赤十字の理念である人道を具現化できる人材を育成することが期待される。
保健医療福祉を取り巻く環境が激変し続けている中で、看護の質の向上、経営の効率化、職場環境の改善等の課題を乗り越えるために、赤十字の看護管理者は、赤十字の基本原則と倫理に依って意思決定し、人々の苦痛を軽減し、生命と健康を守り、人間の尊厳を確保するために活動する。看護管理者は確かな信念を持ち、自ら豊かな人間性を育てていくことが期待される。

看護管理実践能力の習得段階と各レベルの到達目標

習得段階:「看護係長」「看護師長」「看護副部長」「看護部長」をイメージした4段階
レベルIV: 施設経営の幹部として活動し、部門運営の責任を担うことができる。
レベルIII: 部門運営において担当する役割の責任を担うことができる。
レベルII: 部署運営の責任を担うことができる。
レベルI: 部署運営において担当する役割の責任を担うことができる。

看護基礎教育〔看護大学・専門学校(3年課程・2年課程)〕